



主題 たのしいね・ひろがる・つながって	保育テーマ からだ	月の歌 さんぽ・くだものれっしゃ・おおきなうた
聖句 羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。 ヨハネによる福音書10章16節		讃美歌 ♪やさしいめが ♪ひかりひかり

10月の聖句は新約聖書〔ヨハネによる福音書〕の10章16節「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる」という言葉です。聖書が書かれた地方では羊の放牧が盛んに行われていたので、羊は人々にとって身近な存在でした。聖書では人々を羊に例えてイエス・キリストを羊飼いに例え、人々を愛し育て導く存在としてイエス・キリストが描かれています。羊は毛がふわふわで愛らしいですが、世話をしないと一人では生きられない弱い存在で、放っておくと狼に襲われてしまうのでしっかり守らなければなりません。羊飼いにあって羊は家族同然、羊を一匹一匹ちゃんと見分けて大切にします。しかし、羊は可愛くて弱だけでなく、実は頑固で我が強い一面もあります。機嫌が悪いと突進して怪我をすることもあり、意外と力もあります。時に弱く一人では生きられない存在であり、時にわがままで傷つけ合うこともある存在である羊の姿が、聖書では人間の姿に重ねられています。羊飼いは群れの先頭に立って力強く導くのではなく、群れの一番後ろ付いて優しく見守ります。決して無理強いせず、人を愛し、育て、守り、生きる道を導く羊飼いであるイエス・キリストの言葉が、子どもたちの心と体を優しく強く成長させてくれるはずです。

ルーテル合志教会 牧師 多田 哲

0. 1. 2歳児の目標	3. 4. 5歳児の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との関りを深め、安心して過ごす。 ・全身を使ってのびのびと遊ぶ心地良さを味わう。 ・季節の移り変わりを全身で感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまがつながってくださっていることを覚え安心して過ごす。 ・身体を動かし、心を弾ませる経験をする。 ・一緒に過ごす中で友だちの良いところ、楽しいところに気付く。

月	火	水	木	金	土
2	3	4 予行練習	5 礼拝	6 体育教室	7 わくわくデー
9 スポーツの日	10 交通訓練	11 身体測定	12 礼拝	13 小遠足	14
16	17	18 誕生会	19 礼拝	20 体育教室	21
23	24	25 人形劇 ナイトハイク	26 礼拝	27 避難訓練 内科健診	28
30就学時 健康診断(七城小) ぶどうの木 コンサート	31				